

シラス卵稚仔分布調査情報 (No.3)

平成 28 年 6 月 20 日(月)に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査（水深 150m からの鉛直曳き）、ニューストーンネットによる仔稚魚採集調査（表層曳き）、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

【調査結果】

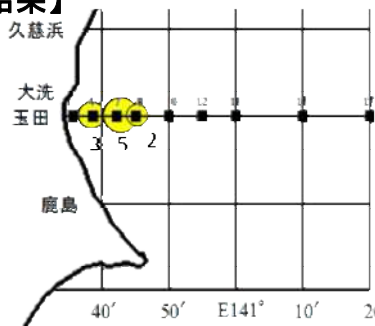


図1 カタクチイワシ卵採集結果

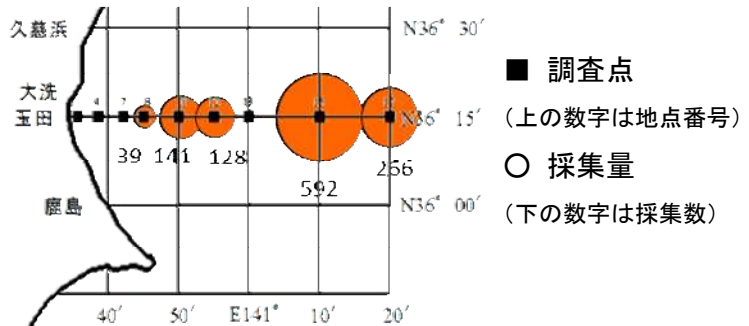


図2 イワシ類仔魚採集結果
 (マシラス, ウルメシラスを含む)

表 調査点及び海洋観測結果

調査位置 (北緯36°15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度	140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'	20'
	離岸距離(マイル)	1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
観測結果	水深(m)	14	25	39	53	121	281	510	770	1000
	水温 0m	20.1	20	20.7	21.5	21.9	22.1	22.4	22	21.9
	50m	-	-	-	-	14.3	15.4	16.3	16.3	16.1
	100m	-	-	-	-	12.3	12.0	13.2	13.8	13.2
	流向°(10m)	-	280	285	330	5	156	196	217	216
流速Kt(10m)	-	0.1	0.2	0.2	0.2	0.7	0.8	0.7	0.8	

【まとめ】

調査ラインの水温は、表層で 20~22℃、水深 100m 層では 12~13℃でした（上表）。また、潮目が 140° 50' E 付近に形成されており、潮目の沖側では強い逆潮が観測され、本県沖を北上した黒潮系暖水が南下している様子がみられました（図 3）。

カタクチイワシ卵、イワシ類仔魚の採集量は平年より少なく、卵は沿岸寄りに偏っていましたが、仔魚は沿岸には少ない状況でした（図 1, 2）。また仔魚の中では、先月まで採集仔魚の 30~70% を占めていたマイワシ仔魚はほぼみられなくなり、今度はウルメイワシ仔魚が出現しました（採集仔魚の 15%）。

現在、シラス漁場は限定的で、各地区それぞれの漁模様となっていますが、現在の卵稚仔の分布状況や今後の海況予測から、今後もしばらくは不安定な漁模様が続くと考えられます。

(担当 回遊性資源部 029-262-4172)

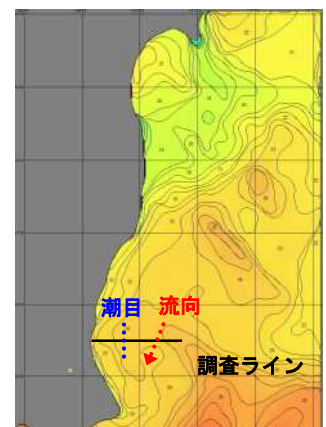


図3 NOAA衛星画像(6/19)